



消費者フォーラム in 千葉～「高齢化社会をどう生きる！！」

私たちが主役の地域づくり

千葉市文化センター アートホール 5月25日(水) 12時30分～15時30分



今年も消費者行政充実ネットちばとして展示に参加しました。展示を見ていただいた一部の方に、現在当団体が適格消費者単体設立準備に参加していることを説明したうえで聞いてみました。

適格消費者団体を知っていますか？

YES 5人 NO 8人

千葉県にもあった方がよい YES 11人 NO 1人

消費者行政充実に向けたシンポジウムを自分の住む町で開催して欲しいというお話もいただきました。

リコールアンケートの活動に賛同頂いたり、シンポジウムでいろいろな方がお話をしているんですね。との感想もいただきました。

参加団体の展示の一部



ちば菜の花会の展示を撮りそこねました。
(山田さんすみません・・・)

「習志野市消生活研究会」は消費者行政充実ネットちば発足当時から単独で参加頂いている地域の消費者団体です。今年、消費者庁消費者支援功労者として「ベスト消費者サポーター章」を受賞されました！心からお祝い申し上げます！！

どの消費者団体も、それぞれの自治体の消費者行政になくてはならない存在ですが、会員数の減少と後継者の育成に悩んでいます。

今年は、会場に市町村からの消費生活モニターさん等の参加が少ないように思えました。その中で、2010年、2011年に悪質訪問販売撲滅キャンペーンを一緒に行った館山市のコミュニティーリーダーの皆さんが今年も参加されており、懐かしい顔を拝見できました！！

プログラム

主催者あいさつ

- ・千葉県環境生活部担当部長 玉田浩一 氏
- ・「消費者フォーラム in 千葉」実行委員長 小田川和恵 氏


消費者庁あいさつ

- ・消費者庁審議官 福岡徹 氏

消費者庁消費者支援功労者表彰

- ・ベストサポーター章 団体 習志野市消費生活研究会
表彰状・記念品授与
プレゼンター 消費者庁審議官 福岡徹 氏
受賞団体代表 浅井 氏

- ・内閣総理大臣表彰紹介

千葉県消費生活相談員の会 

県の消費者行政について 報告

- ・千葉県環境生活部くらし安全推進課長
消費者安全推進室長 新村理 氏

第一部 貴重講演

「わたしたちが主体の地域づくり」

淑徳大学准教授 山下興一郎 氏

第二部 平成 27 年度県民提案事業の事例発表

- ・「認知症でも安心して暮らせる地域を学校から作ろう」
我孫子市消費者の会 加藤 氏

- ・「消費者啓発コント劇団公演事業」

NPO法人いちかわ市民文化ネットワーク
消費者啓発コント劇団 「コント de げき隊」

閉会



浅井さん、50年周年にむけてがんばってください！



「高齢者は、不安と葛藤の中で生きている。」大学生の高齢者理解の様子をユーモアを交えて話される山下准教授のお話は会場から笑いをさそいながらも私たちにコミュニティーの再構築について考えさせてくださいました。

我孫子市消費者の会では、県民提案事業で、小学生から大学生まで

に認知症への理解を深める授業を行いました。授業の後の子供たちの感想が素晴らしい。

自分のおじいちゃんやおばあちゃんと話そうと思った。介護のしごとは自分にちょっとむいてるかも。などなど。素晴らしい感想を引き出した会のみなさんの努力に感激でした。



すっかりおなじみとなった「コント de げき隊」年々パワフルさをますます前期高齢者軍団ですが、今回は本邦初公開。「高齢者の虐待」を撃退でした。

重いテーマですが笑いとユーモアで、観客を笑わせ、そして考えさえ、ほろりとさせながら明日につなげる素晴らしいコントでした。いちかわ市民ネットワークは、消費者行政充実ネットちばに新たに参加いただいています。